

修了生の活躍事例

インタビュー日：令和7年12月10日

「おもしろそう」がきっかけ

前職では主に事務業務を担当していたため、製造に携わる機会はほとんどありませんでした。次第に「もっと直接ものづくりに関わりたい」という気持ちが強くなり、ハローワークに相談したところ、ポリテクセンター静岡を紹介していただきました。見学会に参加した際には、当初希望していた機械加工だけでなく「ものづくり溶接科」の説明も受けることができ、自分の手で製品に触れながら作業できる点に大きな魅力を感じ「これはおもしろそうだ」と思い、ものづくり溶接科を受講することを決意しました。

昨日より今日はもっと上手に！

日本ホイスト株式会社への就職のきっかけは、見学会の案内をいただいたことでした。工場見学に参加した際、女性の溶接士の活躍している姿を拝見し、さらに工場内がとてもきれいで、女性でも働きやすい環境だと感じたため、自宅からは少し距離がありましたが応募を決めました。また、弊社でのものづくりの経験が自身の技術向上につながることも魅力です。

現在はクレーンのガーダ（桁）の製作に携わっています。超音波探傷試験の必要な溶接、ガウジング、クレーンの湾曲検査など難しい作業も多いですが、先輩方にさまざまな技術を教えていただきながら、ポリテクセンターで学んだ溶接の基礎を活かして日々取り組んでいます。今後はこれまでの経験を糧に、ロボット溶接機や搬送制御といった新しい作業や技術にも積極的に挑戦し、さらに新製品づくりにも関わりながら、活躍の幅を広げていきたいと考えています。

日本ホイスト株式会社 (静岡県焼津市)

天井クレーン、橋形クレーン、反転機などのクレーン製品を製造・販売する専門メーカーであり、運搬や管理の合理化を通じて社会に貢献することを目指し、最適なクレーンシステムの構築を提案している。

(製品例)

- ・ホイスト (巻上機) ・各種クレーン
- ・反転機 ・重量物搬送台車



企業外観(おどろきの工場)

日本ホイスト株式会社

遠藤 宏美さん

[⇒ 前職：海運業（事務）]

ものづくり溶接科
(6ヶ月訓練)

令和5年 9月 入所

令和6年 2月 修了

遠藤さん



作業工程の打ち合わせ中

メッセージ

アーク溶接の作業は、初めて見たときの印象とは異なり、実際に挑戦してみると想像以上に難しく、自分の認識が甘かったことを痛感しました。しかし同時に「もっと上達したい」という意欲も湧いてきました。専門用語や技術的な内容を理解するには少し時間がかかりましたが、先生方の根気強いご指導のおかげで、次第に感覚だけに頼らず、論理的に考えながら作業に取り組めるようになりました。

就職に向けては、興味のある会社があれば積極的に活動してください。案内がなくても自ら行動し、困ったときは先生方に相談すると良いと思います。半年間は本当にあつという間に過ぎてしまいます。皆さん、どうか最後まで頑張ってください！

上司の声 監督係長 廣田 一志 様

遠藤さんが配属された当初は体力面が心配でしたが、仕事に慣れるにつれて体力もつき、その不安はすぐに解消されました。また、溶接の基礎知識はあったものの、実際のものづくりの現場では求められる内容が異なるため、慣れや学習が必要でした。配属から半年ほどは対応に苦労している様子も見られましたが、その後は目覚ましい成長を遂げています。

現在では、仕事に対する姿勢が非常に丁寧で、一步先を見据えた行動ができるところから信頼も厚く、チャレンジ精神も旺盛です。今もなお急速に成長を続けており、今後のさらなる活躍に大きな期待を寄せています。

